

一般質問通告一覧

令和3年9月島田市議会定例会

令和3年9月8日・9日本会議

島田市議会

◎ 発言順位

令和3年9月8日（水） （頁）

15番	桜井	洋子	議員（一問一答）	-----	1
5番	天野	弘	議員（一問一答）	-----	2
7番	四ツ谷	恵	議員（一問一答）	-----	3
6番	曾根	達裕	議員（一問一答）	-----	4
14番	横山	香理	議員（一問一答）	-----	5
10番	村田	千鶴子	議員（一問一答）	-----	6

令和3年9月9日（木）

3番	青山	真虎	議員（一問一答）	-----	7
16番	森	伸一	議員（一問一答）	-----	8
4番	提坂	大介	議員（一問一答）	-----	9
18番	清水	唯史	議員（一問一答）	-----	10
2番	石川	晋太郎	議員（一問一答）	-----	11
17番	八木	伸雄	議員（一問一答）	-----	12

○一般質問の質問時間の目安

質問者	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目	6人目	7人目
質問 時間	9:30	10:25	11:20	13:10	14:05	15:05	16:00
	~	~	~	~	~	~	~
	10:20	11:15	12:10	14:00	14:55	15:55	16:50

時間はあくまでも目安です。

一問一答方式は持ち時間50分です。

議員により質問時間は変動しますので、あしからず御了承ください。

1. 15番 桜井洋子 議員 (一問一答)

1. 国民健康保険税について

コロナ禍の緊急事態宣言下において、医療の逼迫、また、飲食店等の営業や市民の暮らしも大変厳しい状況に直面している。そのような中、国民健康保険税が高く支払うことができず、滞納してしまっている状況が続いており対策が求められるため、以下伺う。

- (1) 本年度における加入世帯の業種別、所得段階別の状況はどうか。
- (2) 令和2年度の滞納状況はどうか。
- (3) 短期被保険者証、資格証明書の発行世帯数はどうか。
- (4) コロナ禍で収入が前年比3割減の世帯への国民健康保険税減免の実績はどうか。
- (5) 令和2年度から、段階的に国民健康保険税の基礎課税額分の所得割引き上げが行われてきた。基金の活用で国民健康保険税を引き下げるべきと考えるがどうか。

2. 子どもの医療費助成について

現在、新型コロナウイルスの感染は子どもにも広がりを見せ、懸念するところであるが、12歳以上のワクチン接種も順次進められる計画であり、対応が急がれる。そのような中、経済的に不安なく医療を受けることができる子どもの医療費助成制度のさらなる充実を求め、以下伺う。

- (1) 当市の入院費については、18歳までの無料化が実施されているが、入院時の食事は自己負担である。食事は身体の回復に重要であり、治療の一環ともいえ、この費用の助成を求めるがどうか。
- (2) 通院費については、1回500円の自己負担（未就学児は月2回まで、小学生以上18歳までは月4回まで）であるが、完全無料化にすべきと考えるがどうか。

2. 5番 天野 弘 議員 (一問一答)

1. 土砂災害対策等に対する取組について

本年7月3日に熱海市で多くの犠牲者を出す痛ましい土砂災害が起こった。今回の土石流の発生原因として、不適切に行われた盛土が疑われている。近年、毎年のように全国各地で降雨水害が発生し、大きな被害が出ており、平成30年の西日本豪雨災害や令和2年の熊本豪雨災害で、大きな被害が出たことはまだ記憶に新しいところである。また、本年5月には、災害対策基本法が改正され、市が発令する避難情報の区分も変更になった。

本市は、土地の70%以上が山地であり、多くの中小河川が流れ、さらに市の中央を一級河川の大井川が貫いて流れている。このような自然環境にある中、本市の危機管理対策として、大規模地震と同様に大雨による土砂災害等の対策は大きな課題であると考えます。そこで、市が取り組む土砂災害対策などに関する次の項目について、以下質問する。

- (1) 熱海市の土石流災害に関連して、市内で土石流及び盛土に係る災害の発生の可能性のある箇所を把握しているか伺う。
- (2) 市内において、土石流災害等の対策事業を実施した数について伺う。また、今後整備が必要な数について併せて伺う。
- (3) 既に土砂災害等の対策事業が実施済みの箇所について、点検や管理状況を伺う。
- (4) 市内の中小河川の災害対策として、護岸の安全対策や河床のしゅんせつについて、どのように取り組んでいるか伺う。
- (5) 市における土砂災害を含めた水害対策の取組状況及び現在の課題について伺う。

3. 7番 四ツ谷 恵 議員 (一問一答)

1. 初倉地区の学校再編について

先日、初倉地区小中学校再編方針検討委員会が開催された。住民の意見が本当に反映されているか、市が進めている子どもたちを取り巻く地域づくりなどは本当に守られるか、拙速ではないかと疑問が残る。学校再編における小中一貫校の課題について、以下質問する。

- (1) 学校再編の提案は、いつ、どこで、どのような経緯で提起されたか伺う。
- (2) 地元からの再編の要望があったか伺う。もし、要望があったのであれば、どういう理由か伺う。
- (3) 学校再編の経緯について、地元への説明はどの程度進んでいるか。また、説明会にはどのような人が何人で参加したか伺う。
- (4) 学校再編後、小中一貫校を考えているが、そのメリット、デメリットも示されていない中でアンケート調査を行っている。保護者だけでなく、現場で働く先生や子どもたちの意見はどうか伺う。
- (5) 学校再編し、小中一貫校を目指しているが、そのメリット、デメリットを明確にしてから住民への説明をすべきである。先に学校再編ありき、小中一貫校ありきの議論は本当に民主的な手続きか伺う。

2. 学校給食について

6月定例会でも取り上げたが、食育は教育の一環であり義務教育であると理解している。再度、市は、どのように認識しているか、以下質問する。

- (1) 義務教育は無償であることから、学校給食について、どのように考えるか。
- (2) 学校給食については、国の施策を待たずとも各自治体が権限を持って施行できると考える。もし、財源が確保できるのであれば、給食費の無償化を検討する考えはあるか伺う。

4. 6番 曾根達裕 議員 (一問一答)

1. 緊急時における避難所の運営状況と被災者に対する救済助成制度について

巨大地震や台風、局地的短時間豪雨による風水害、土砂災害など、これまでに考えられなかったような災害が全国で発生している。このような災害への対応が求められており、以下質問する。

- (1) 市内の第一次指定避難所の数及び施設の現在の用途の内訳を伺う。
- (2) 各避難所における避難所運営会議の開催状況について伺う。
- (3) 避難所の開設から運営に関し、避難所運営会議の役員、避難者及び市はどのような役割を担うことになるか伺う。
- (4) 市内の避難所において、先進的な取組をしている例を伺う。
- (5) 被災者救済制度について、どのようなメニューがあるか伺う。
- (6) 突風被害により準半壊と判定された家屋など、国の支援対象とならない被害に対する助成制度はあるか伺う。

5. 14番 横山香理 議員 (一問一答)

1. 蓬莱橋右岸整備について

大井川蓬莱橋右岸のかわまちづくり計画は、令和4年度から令和8年度までの5か年計画としている。昨年11月定例会の一般質問の際に、国と市の役割分担を踏まえ、毎年度協議・調整を図った上で、ミズベリング協議会に諮り、地域の合意を得て作業を進める予定であると答弁があった。また今年度は、社会実験を予定していることから、蓬莱橋右岸整備の進捗状況と今後の計画について、以下質問する。

- (1) 現在の進捗状況について伺う。
- (2) 令和3年7月1日から令和3年8月31日までの期間に募集をしていた水辺イベントの応募状況はどうであったか伺う。
- (3) 今後の計画について伺う。

6. 10番 村田 千鶴子 議員 (一問一答)

1. 災害時における情報伝達の現状について

全国で毎年のように大規模な災害が起こっている。この背景には、地震活動の活発化や地球温暖化等の影響であると言われている。さらに、コロナ禍という未曾有の感染症災害に見舞われている昨今では、正しい情報を素早く収集し、迅速かつ正確に伝える手段の整備が必要不可欠であると考えます。IT時代とはいえ、超高齢社会では、まだまだ緊急時の防災情報は同報無線が最も有効であると考えます。そこで、以下について、所見を伺う。

- (1) 当市の災害、防災、緊急時における情報伝達の手段方法及び評価はどうか。
- (2) 同報無線についての市民の声及び課題は何か。
- (3) 情報伝達に関して高齢者への配慮はどうか。
- (4) 合併前の金谷町で配布された戸別受信機の有効性はどうか。

2. ダイバーシティの尊重とスポーツ振興について

多様性と調和を大会ビジョンの1つとして、2020東京オリンピック・パラリンピックが開催された。今回の大会では、性的マイノリティのアスリートや、このほか、当市出身のアスリートの活躍が注目されたことは記憶に新しい。それらを踏まえて、ダイバーシティの尊重とスポーツ振興の観点から、以下の諸点について市長の所見を伺う。

- (1) 性的マイノリティの尊重について、今後、どのような方向性をもって取り組んでいくか。また、具体的な取組を考えているか。
- (2) パラスポーツの振興について、どのような取組を考えているか。
- (3) 当市出身のアスリート(自転車BMX女子フリースタイル・パークの大池水杜選手、車いすバスケットボールの藤本怜央選手)に対して、何らかの顕彰を考えているか。

7. 3番 青山真虎 議員 (一問一答)

1. コロナ病床の確実な確保に向けて

新型コロナウイルス感染症が急拡大し、自宅療養の患者が、当初の軽度から重篤化して救急搬送されても受入先がないことで、痛ましい事故が連日報道されている。6月定例会で私は、コロナ騒動の出口戦略を考えるべきと質問したところ、健康福祉部長から国が5類に指定したらという答弁があった。政府の5類指定の前提として、医療不備による死亡者をまずゼロにしなければならず、それには病床の確保、医療体制の確立をして命の保証の裏付けを得る必要がある。地方としても最大限の協力が必要で、当市でも秋冬の感染爆発に備えてコロナ病床の確実な確保が急務である。そこで以下質問する。

(1) 解体準備が進む旧市民病院をコロナ専門病棟として改めて県に提案してはどうか。

2. アフターコロナの循環型社会のシステム構築について

新型コロナウイルスによる自粛続きの影響で、税収が下げ止まりする可能性は国も地方も大きく、また市民の収入も同様である。自治体でいえばこれからはハコモノを作って壊す時代から、今あるものを最大限活用した地方こそが生き残っていくと確信している。食品残渣をメタンガスにしてエネルギーに変えるような、まやかしSDGsではなく、次世代に戦後からの「経済一辺倒の社会により発生している負担」を、適正な教育と方針の下、私たち代で終わらせなければならない。そこで以下質問する。

(1) 世界中で禁止されているグリホサート（枯葉剤）やネオニコチノイド農薬が日本では実質規制もかけられず、農家や一般市民が危険性の認識のない状態で大量に散布している。これらの農薬成分が地下水に混ざっている可能性があるが、水質検査で調べているか。

(2) 次世代への負担がもっとも大きいと思われる荒廃森林の状況であるが、手が行き届いていない間伐すべき面積はどれほどか。また、荒廃竹林の面積はどれほどか。

(3) 市内約39,000戸中、4,430戸が空き家になっている住宅のうち空き家バンクへの登録は何戸で、登録率は何%か。

(4) コロナ禍でマスクが不足した。これが食料だったらと思うとゾッとする。10年前のデータでは市内の食料自給率は12%だった。今は何%で、目標は。

(5) 3人目以降の出産では過去にお祝い金を出していたと聞く。施策復活の必要性を問う。

(6) リニア中央新幹線の大井川源流部へのトンネル工事に伴う大井川の流量減少問題についてこの3か月で進展はあったか。

8. 16番 森 伸一 議員 (一問一答)

1. 島田市文化芸術推進計画の進捗状況について

島田市文化芸術推進計画が昨年3月に策定されてから1年半が経過した。計画の内容が多岐にわたるため、計画に示されている施策についていくつか絞り、以下伺う。

- (1) 誰もが参加できる環境づくりの中に新たな取組として、プラザおおりの活用方法を検討すると書かれているが、現状と今後の予定はどうなっているか。
- (2) にぎわいを創出する人材の育成・確保・活用の中で、新たな取組が書かれているが、取組の進捗状況はどうか。
- (3) 人をつなぐための情報の整理と発信の強化について、情報の共有、連携や整理の取組はどのような状況か。
- (4) 大井川が育んだ地域の文化・習慣等の保存と継承について、来年予定されている島田大祭及び金谷茶まつりの準備状況はどうか。
- (5) 大井川を核とした地域固有の文化の活用と創出の中で蓬萊橋の活用について
 - ① 今年度から、大井川蓬萊橋右岸かわまちづくり計画の準備が始まった。左岸の計画策定時、島田市大井川ミズベリング協議会の在り方について議論があったが、右岸の計画を進めるために改善した点はあるか。
 - ② 蓬萊橋 897.4 茶屋が開業して約3年経過したが、蓬萊橋 897.4 茶屋の運営や販売品の選定、建物内の使い勝手などの状況はどうか。
 - ③ 川越遺跡と蓬萊橋やまちなかをつなぐ必要性があると思うが、市として進めていくつもりはあるか。

9. 4番 提坂大介 議員 (一問一答)

1. 市の新型コロナウイルスへの対応について

9月12日までとする緊急事態宣言が発令される中でも陽性者は増えているようであるが、私は新型コロナウイルス感染症について、市独自で調査し、考え、理解し、正しい情報を発信することにより市民に安心してもらい、アフターコロナに向けて準備をするべきではないかと考える。

新型コロナウイルスのアルファ株、デルタ株、ラムダ株などの変異について、テレビやマスコミ等は危険性をあおっているが、ウイルスが変異することは基本的なことであり、なおかつ弱毒化することと感染力が上がることは基本的に比例する。

市としても正しい情報を発信することが市民の安全につながると6月定例会でも質問した。

新型コロナウイルスには誰もがかかりたくてかかっているわけではない。

国や県からの情報や指示に従っているだけではなく、市独自で調査し、正しい情報を集め、市民に向けて発信し続けることで、社会として新型コロナウイルス感染症を許容し、かかった人に優しい気持ちや思いやる気持ちを醸成できると考える。

そうすることで、コロナ禍から脱却できると考え、以下質問する。

- (1) 当市は新型コロナウイルスの陽性者をゼロにすることを目指しているのか。
- (2) 市ホームページ等で発表している感染症患者等とは感染者を指すのか、それとも陽性者を指すのか。
- (3) 先日の新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態措置に係る島田市の対応方針の中で「若年層への急速な拡大やワクチン接種が終わっていない成人の重症化が懸念されている」と書かれていた。厚生労働省が発表しているデータを見ても静岡県若年層の重症者・死亡者は0人である。ワクチンも打っていない若年層に一人もいないことから重症者・死亡者の急速な拡大はみえないが、なぜ懸念しているのか。
- (4) お茶に含まれているカテキンがコロナウイルスを不活性化すると奈良県立医科大学や京都府立医科大学、静岡県環境衛生科学研究所からも発表されている。緑茶のイメージを活用したプロモーション施策を島田市緑茶化計画とするならば、市のホームページ等で大々的にPRする絶好の機会であると考えますがどうか。
- (5) このコロナ禍を脱却するためにも、市(政治)がアフターコロナに向けて舵を取るべきであると考えますが市長の見解を伺う。

10. 18番 清水唯史 議員 (一問一答)

1. 太陽光発電設備の適正な設置と設置後の指導について

市長は、本年3月30日に「大井川が育む みどり豊かな自然と共生する資源循環型のまち しまだ」の実現と、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとするゼロカーボンシティを目指し、市民と事業者等と一体となり脱炭素社会の実現に向けて取り組むことを表明している。その取組の実現の大きな役割を占めるものとして、国でも再生可能エネルギーとしての太陽光発電を推進しているが、その設備は効率性を求め、山間地の日照時間の長い立地に設置が進められている現状である。

そこで、市内で設置が進められている太陽光発電設備の現状と、今後における行政の管理や指導体制について、以下質問する。

- (1) 太陽光発電設備設置に対しての、島田市太陽光発電設備の適正な設置に関する条例及び島田市太陽光発電設備の適正な設置に関する指導要綱の概要を伺う。
- (2) 条例で指導する大規模太陽光発電設備と、指導要綱で指導する設備のそれぞれの稼働数を伺う。
- (3) 県は、本年7月に発生した熱海市における大規模土石流の発生の要因を山間地の乱開発や無計画な盛土工事によるものであったとしている。市内に設置された太陽光発電設備における盛土の有無を伺う。
- (4) 稼働中の設備に対する近隣とのトラブルはあるか。また、トラブルがあればその内容を伺う。
- (5) 自然環境の保護と再生可能エネルギーの促進の両立をどのように考えるか伺う。

11. 2番 石川 晋太郎 議員 (一問一答)

1. ICT推進プロジェクトについて

国の地方創生に係る交付金を活用し、5年間にわたり産官学が連携して取り組んできたICT推進プロジェクト事業が令和2年度で終了した。人材育成やクラウドソーシング推進、産業ICT導入を大きな柱とした本事業は、期間終了後、民間による自走を目指して取り組んできた。今回、最終年度にあたる令和2年度の決算を行うに際し、当分野における今後の取組について、以下質問する。

- (1) 本事業における人材育成部門の成果について伺う。
- (2) 本事業における人材育成部門の今後の取組について伺う。

2. 町内会等の管理する公園管理について

公園とは、市民のレクリエーションの場であるとともに、景観、環境、防災等の面からも豊かな地域づくりを目的として設置された空間である。現在、当市には181箇所の公園や広場が設置され、市と町内会等が管理している。一方、危機管理意識が高まる中、各都市の公園管理に係るコストは増大傾向にあり、財源確保が厳しい状況にある。そうした状況の中、市の公園管理の状況について、以下質問する。

- (1) 市内181箇所の公園や広場について、市が管理する数と町内会等が管理する数、また、管理者が異なる理由を伺う。
- (2) 財源が乏しい各町内会等に対して、市が行っている現状の支援と今後の方向性を伺う。

12. 17番 八木伸雄議員 (一問一答)

1. 学校教育について

現在の新型コロナウイルスの感染状況下において、児童や生徒の安全確保にご尽力、ご苦労されている学校関係者に心より感謝申し上げます。今回の新型コロナウイルス感染症の発現により、図らずも全国各自治体の教育行政における主体性の差を痛感した。通常では見えなかったものが、非常事態だからこそはっきり見えた気がした。

そこで、当市が目指す教育は何か、目指そうとする児童や生徒像の在り方はどのようなものか、以下質問する。

- (1) 新型コロナウイルス感染症対応について、新型コロナウイルスの感染の始まりから現在のパンデミックと言ってもいい状況の中、様々な対応を余儀なくされた。市の具体的な対応とそれぞれの判断の根拠は何か。また、最終的な判断をした責任者は誰か。
- (2) 小・中学校の統合について、学校再編計画策定までの経緯について伺う。
- (3) 児童・生徒の学力向上について、当市の目指すべき教育方針はどのようなものか伺う。
- (4) 健全な生徒を育む取組について、生徒の成長を促すための文化活動、スポーツ活動に対する取組の実態について伺う。
- (5) 教育格差への対策について
 - ① 小・中学校におけるいじめの件数について、6年間の推移を伺う。
 - ② 不登校の児童や生徒数について、6年間の推移を伺う。
 - ③ 引きこもりの児童や生徒数について、6年間の推移を伺う。
 - ④ 不登校の児童や生徒への課題と対策について伺う。
 - ⑤ 引きこもりの児童や生徒の対策と家族への支援の実態を伺う。